

A I 移住相談システムの本格運用について

令和2年10月19日
地域力創造課

1 要旨

本県では、令和元年11月26日から、AI移住相談システムの試験運用を開始し、利用状況の分析による改善や利便性を高める機能の拡充を行い、相談ノウハウを活用するシステムが概成したことから、令和2年10月13日から本格的な運用を開始した。

2 試験運用の成果

(1) 登録者数 17,822人(10月11日現在)

(2) 利用状況

相談件数	最多相談：741件/日
利用時間帯	18時から翌日10時(相談窓口の営業時間外)：82.3%
利用者の居住地	県外：96.3%

(3) 評価(AI相談のメリットに係る登録者アンケートによる)

- 東京相談窓口ノウハウの実装を評価する意見が69.2%

【回答例】・移住に関して新たな気づきがあった：23.0%

・ネット検索では入手できない情報がわかった：22.6% など

- 特になし：30.8%

3 本格運用における主な機能拡充

- 利用者が入力した単語等から、ニーズや検討の熟度を判断し、回答を出し分け
- 対話の始め方や誘導のパターンを増やし、回答情報を大幅に増加
- 相談者の名前を記憶し、呼んで話しかける機能を追加
- イベント参加などでポイントがたまり特典を供与する制度を追加

4 今後の方針

次の取組などにより、AI相談による移住促進効果を高めていく。

- 様々な移住クラスターにデジタルマーケティングを実施し、登録者を増加。
- 利用状況データ等を分析して、回答の出し分け機能等を改善しウェブ上での動機づけを強化
- AI相談から受け皿となる地域の人や関係機関などにつなげる機能を拡充